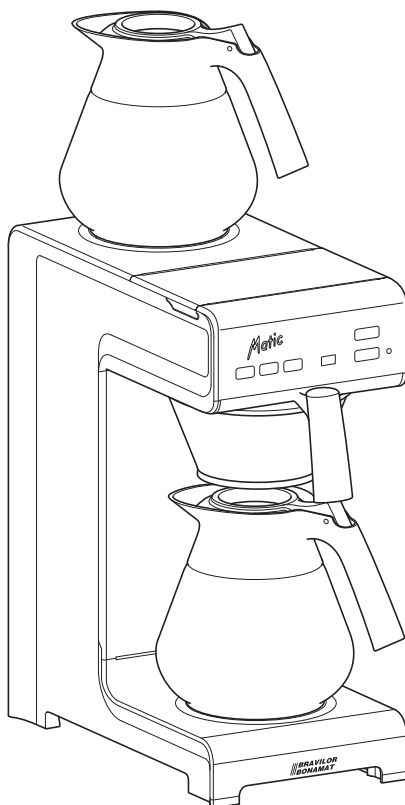


コーヒーブルーワー【ボナマツ】
MATIC-2NA(S) (業務用)

**BRAVILOR
BONAMAT**

取扱説明書



このたびは、当社のコーヒーブルーワー (MATIC-2NA(S)) をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

この商品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになられる前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ安全にお使いください。

お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

保証書は、この取扱説明書の最終ページに記載されております。
必ず「お買上げ日・お買上げ店名」等の記入をお確かめください。

保証書付

目 次



安全上のご注意	1～7
各部の名称	8・9
本体	8
付属品	8
操作パネル	9
操作のしかた	10～13
ご使用前の準備	10
コーヒーの抽出	10～12
終業時	13
お手入れ	14・15
ファンネルとデカンタの洗浄	14・15
本体外装の清掃	15
コーヒー抽出量の変更方法	16・17
コーヒー総抽出量の確認方法	18
スケール除去ランプが点滅した場合	19～23
据え付けかた	24～28
故障の診断と手当	29・30
仕様	32
商品保証書	33

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください




表示と意味は次のようになっています

注意喚起シンボルとシグナル表示の例

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。

* 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

 感電注意	△は、注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 接触禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
 プラグを抜く	●は、行動の命令（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

⚠ 警告



専門業者

据付工事は、お買上げ店または専門業者に依頼すること

ご自分で据付けをされ不備があると、水漏れや漏電、ショート、感電、火災などの原因になります。



アースとる

アースを必ずとること

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。



専用電源

本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に直接接続すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



電気工事

電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用すること

電源回路不良、容量不足や施工不備があると、漏電、ショート、感電、火災の原因になります。



屋外禁止

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、ショート、感電の原因になります。



湿気禁止

湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

本体や電源コードに水がかかると、絶縁低下から漏電、ショート、感電の原因になります。



水掛け禁止

本体に直接水をかけないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、ショート、感電、火災の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグ（電源プラグを使用の場合）が破損している場合は使用しないこと

そのまま使われますと、ショート、感電、火災の原因になります。

⚠ 警告



点検清掃

電源プラグを使用している場合は、刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に電源プラグを抜いて確認し、ガタのないように確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、ショート、感電、火災の原因になります。



連絡

漏電遮断器または、サーキットブレーカーが『OFF(切)』に作動した場合には、お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを『ON(入)』にすると、ショート、感電、火災の原因になります。



接触禁止

機械内部の電気装置や配線にさわらないこと

電気装置や配線に触れると、感電する恐れがあります。



濡手禁止

濡れた手で電源プラグなど（電源プラグを使用の場合）の電気部品に触れたり、本体の各スイッチを操作しないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



専用電源切

異常時は、本体の電源スイッチを切り、電源プラグを抜く（電源プラグを使用の場合）か、本機専用電源を『OFF(切)』にしてすぐにお買上げ店へ連絡すること

異常のまま使用を続けると、ショート、感電、火災の原因になります。



ガス栓閉

ガス器具などからガスが漏れていたら、ガスの元栓を閉めて、窓をあけて換気すること

本機の電源スイッチを「ON(入)」にしたり、電源プラグを抜いたり（電源プラグを使用の場合）すると、引火爆発し危険です。



接触禁止

保温プレートがONの状態のときは、保温プレートに手を触れないこと

保温プレートは、高温になっているため、触れるとやけどの原因になります。



禁止

保温プレートがONの状態のときは、保温プレートの上や周囲には、デカンタ以外のものを置かないこと

保温プレートの熱による、破損の原因になります。



OFF(切)

上部保温プレートを使用しない場合は、安全のため必ず「上部保温スイッチ」を「OFF(切)」にしておくこと

誤って上部保温プレートに触れた場合、やけどの原因になります。

⚠ 警告



OFF (切)

下部保温プレートを使用しない場合は、安全のため必ず「電源スイッチ」を「OFF (切)」にしておくこと

誤って下部保温プレートに触れた場合、やけどの原因になります。



禁止

120gを超えるコーヒー粉量で抽出をおこなわないこと

コーヒー粉量が多すぎると、コーヒー抽出の際にファンネル上端からコーヒーが溢れ出て、やけどの原因になります。
機械の内部にコーヒーが入り込みますと漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

デカンタは、落としたり、物にぶつけたりしないこと

デカンタのガラス部分が割れた場合、ケガの原因になります。
デカンタ内にコーヒーが入っている場合、コーヒーが体にかかりますと、やけどの原因になります。



分解禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理はおこなわないこと

やけどや感電をしたり、修理に不備があると、水漏れや漏電、ショート、感電、火災などの原因になります。



改造禁止

改造は絶対におこなわないこと

改造をされると、水漏れや漏電、ショート、感電、火災などの原因になります。



専門業者

移設は専門業者か、お買上げ店に連絡すること

据え付け不備があると、水漏れや漏電、ショート、感電、火災などの原因になります。



専門業者

廃棄は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

放置しますと、子供などがケガをする原因になります。

⚠ 注 意



水平据付

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付ける場所が、ガタついていたたり、かたむいていたりすると水漏れや転倒、落下によるケガなどの原因になります。



高温禁止

本機の上に重量物を置かないこと

落下するとケガの原因になります。



熱器具禁止

熱器具を乗せたり、熱器具を周囲に置いたりしないこと

熱でプラスチック部品が変形したり、破損した場合、ケガの原因になります。



防水処置

水をこぼしてもよい所に据え付けること

使用中にコーヒーや湯などが周囲に飛び散り、床面などを濡らします。濡れると不都合な所には、据え付けしないでください。



相談

凍結の恐れのある場所へは据え付けないこと

凍結により給水管が破裂した場合、周囲を濡らす原因になります。凍結の恐れがある場所へ据え付けされる場合は、お買上げ店にご相談ください。



飲料水

給水に使用する水は、必ず飲料用の水を使用すること

飲料水以外の水を使用しますと、健康障害の原因になります。



可燃物禁止

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないこと

本体背面の電源スイッチを「ON(切)」にしたり、電源プラグを抜いたり（電源プラグを使用の場合）すると、発火の原因になります。



禁止

製品にもたれたり、乗ったりしないこと

やけどや製品転倒によるケガの原因になります。



コーヒー粉

ファンネルの中には、ペーパーフィルターやコーヒー粉以外のものは入れないこと

本機は、コーヒー抽出を目的として作られています。それ以外の用途には使用しないでください。

⚠ 注意



注意する

コーヒー抽出の際は、コーヒーが手にかからないよう充分に注意すること
やけどの原因になります。



禁止

デカンタは、強い直火にかけないこと

デカンタを強い直火にかけますと、割れる恐れがあり、ケガややけどの原因になります。



禁止

ひび割れや、傷の入ったデカンタは使わないこと

使用して割れた場合、ケガややけどの原因になります。



注意する

お手入れの際は、ファンネルに残ったコーヒーやシャワープレート内に残った熱湯が手にかからないよう充分に注意すること

手などにかかると、やけどの原因になります。



洗浄

一日の営業終了後は、必ずファンネルとデカンタを洗浄すること

洗浄しないと、雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。



専用電源切

お手入れのときや点検のときは、必ず本体の電源スイッチを「OFF(切)」にし、電源プラグを抜く（電源プラグを使用の場合）か、本機専用電源を「OFF(切)」にすること

誤ってコーヒー抽出スイッチに触れて給湯が開始された場合、やけどの原因になります。
漏電、ショート、感電の原因にもなります。



セット

コーヒー抽出時やスケール除去作業の際、必ずファンネルとデカンタをセットしてからコーヒー抽出スイッチを押すこと

ファンネルとデカンタをセットせずにコーヒー抽出スイッチを押した場合、熱湯が飛び散り体にかかると、やけどの原因になります。
熱湯が機械内部に入ると、漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

電源プラグを使用している場合、プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源プラグ内でコードに傷がつき、火災、感電の原因になります。

⚠ 注 意



洗い流す

洗剤を使った後は、必ずすすぎ洗いをする

すすぎ洗いをおこなわないと洗剤成分が残り、健康障害の原因になります。



セット

スケール除去作業で、「レネジット液」を本機内に投入した後は、必ずスケール除去作業を最後までおこなうこと

本機内に「レネジット液」の成分が残った状態で、コーヒーを抽出した場合、コーヒーに「レネジット液」の成分が混ざり、健康障害の原因になります。



断水時閉弁

断水のときは、本体の電源スイッチを「OFF（切）」にし、電源プラグを抜く（電源プラグを使用の場合）か、本機専用電源を「OFF（切）」にして、水道栓を閉めること

開けておくと通水時、不衛生な水が機械に給水され、健康障害の原因になります。



水入れ替え

断水後や定休日明けの使用前には、必ず機械内部の水を入れ替えること

水の腐敗から、健康障害の原因になります。



専用電源切

一週間以上ご使用にならない場合は、安全のため本体の電源スイッチを「OFF（切）」にし、電源プラグを抜く（電源プラグを使用の場合）か、本機専用電源を「OFF（切）」にすること

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になります。



動作点検

漏電遮断器は月に1回動作確認すること

漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になります。



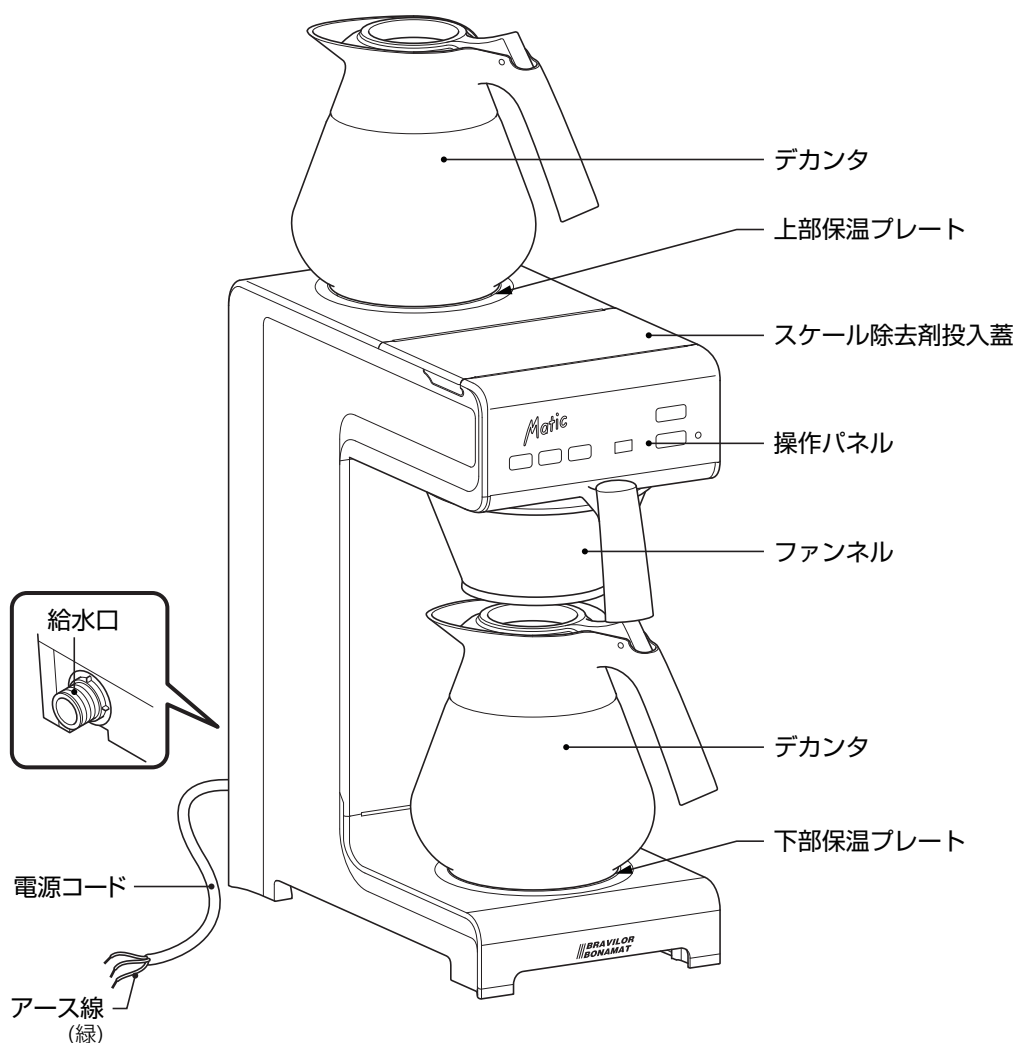
テープ止め

このお使いになっている商品を他に売ったり、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使いかたを知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること

各部の名称

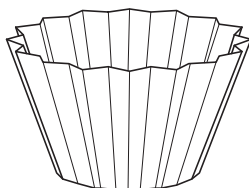
本機は、コーヒーを抽出する機械です

本体



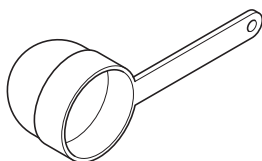
付属品

ペーパーフィルター
(φ250)

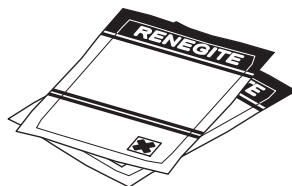


100 枚

粉計量スプーン

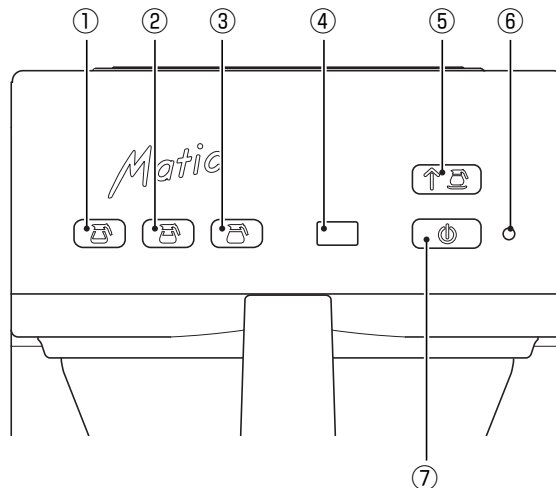


スケール除去剤「レネジット」
(RENEGITE)



機械内部に付着したスケールを除去する際に使用します。

操作パネル



- ①「コーヒー抽出（小）スイッチ」…… 設定した量の 1/4 のコーヒーを抽出します。
- ②「コーヒー抽出（中）スイッチ」…… 設定した量の 1/2 のコーヒーを抽出します。
- ③「コーヒー抽出（大）スイッチ」…… 設定した量のコーヒーを抽出します。
- ④「ディスプレイ」…………… 異常が発生した場合、エラーコードを表示します。
 コーヒー抽出量の設定変更の際に、設定値を表示します。
 今までのコーヒーの総抽出量を表示させることができます。
- ⑤「上部保温スイッチ」…………… 上部保温プレートを ON、または OFF にします。
 電源スイッチが「OFF（切）」の状態でも、「上部保温スイッチ」を「ON（入）」にすることができます。
- ⑥「スケール除去ランプ」…………… 表示ランプ（赤）が点滅したときは、機械内部に付着しているスケールの除去をおこなってください。
- ⑦「電源スイッチ」…………… 本機の電源と下部保温プレートを「ON（入）」、または「OFF（切）」にします。

操作のしかた

ご使用前の準備

1. ファンネルと、デカンタを洗淨してください

「お手入れ」(14 ページ) を参照してください。

2. 水道栓と浄水器の栓を開けてください

コーヒーの抽出

お願い

本機を1日以上使用しなかったときは、コーヒーを抽出する前に「コーヒー抽出(中)スイッチ」(☒)を押して、お湯だけの抽出をおこない、タンク内の水を入れ替えてください。

水質の悪化によるコーヒーの味の低下を防止します。

長期間、本機を使用されなかったときは、デカンタ1杯以上の湯を抽出してください。

1. ファンネルに、ペーパーフィルターを入れ、抽出量に合った量のコーヒー粉を入れてください

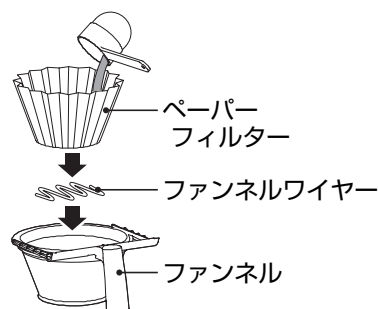
コーヒー粉の量は、コーヒー1Lの抽出に対し40g～60gを目安にしてください。

標準は約50g/Lです。

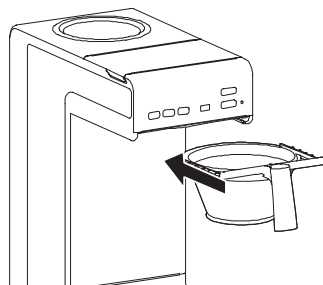
豆のメッシュ、種類、好みに応じてコーヒー粉の量を調整してください。

豆のメッシュは、中挽き(普通のドリップ用程度)が適当です。

付属の粉計量スプーン1杯は、中挽きのコーヒー粉で約30gです。



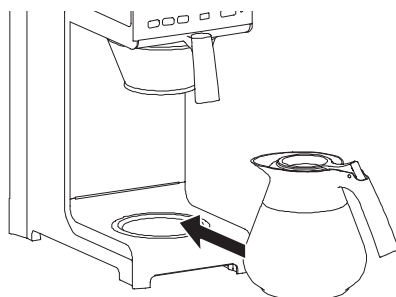
2. 本体に、ファンネルをセットしてください




3. 下部保温プレートの上に、空のデカンタを置いてください

お願い

デカンタのふたは、コーヒーを抽出するときや、カップにコーヒーを注ぐときも閉めておいてください。



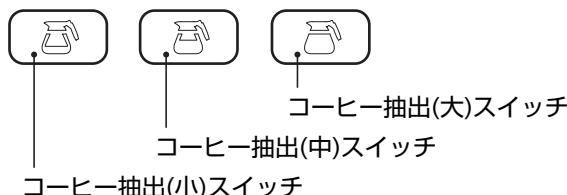
4. 本体の「電源スイッチ」 を押して「ON (入)」にしてください

ブザーが鳴り、「電源スイッチ」  がオレンジ色に点灯します。

下部保温プレートが ON の状態になります。



5. お好みの抽出量のコーヒー抽出スイッチを押してください



各コーヒー抽出スイッチの工場出荷時の設定

「コーヒー抽出 (小) スイッチ」 → 1.3×1/4L

「コーヒー抽出 (中) スイッチ」 → 1.3×1/2L

「コーヒー抽出 (大) スイッチ」 → 1.3L

ブザーが鳴り、押したコーヒー抽出スイッチは、オレンジ色に点灯します。

給水後、湯が沸き上がるとコーヒーの抽出を開始します。

コーヒーを抽出している間、「電源スイッチ」  は点滅します。

コーヒーの抽出が終了し、約1分の後垂れ時間が経過すると、コーヒー抽出スイッチは消灯し、ブザーが3回鳴ってコーヒー抽出の完了をお知らせします。

コーヒーの抽出を途中で止めたい場合は、「電源スイッチ」  を押してください。

コーヒーの入ったデカンタは、上部保温プレート、または下部保温プレートに置いておけば、コーヒーを保温することができます。

上部保温プレートは、「上部保温スイッチ」  を押すと ON の状態になります。

もう一度、「上部保温スイッチ」  を押すと OFF の状態になります。

上部保温プレートを使用する場合は、使用前に予め「上部保温スイッチ」(↑☺)を押してONの状態にしてください。

上部保温プレートは、本機の「電源スイッチ」(Ⓢ)を「OFF (切)」にした状態でも、「上部保温スイッチ」(↑☺)を「ON (入)」にすることができます。

本機は、デカンタが2個付属していますので、先にコーヒーを抽出したデカンタを上部保温プレートで保温させておき、もう1個のデカンタに新しいコーヒーを抽出させることができます。

⚠ 警告



上部保温プレートを使用しない場合は、安全のため必ず「上部保温スイッチ」(↑☺)を「OFF (切)」にしておくこと

誤って上部保温プレートに触れた場合、やけどの原因になります。



下部保温プレートを使用しない場合は、安全のため必ず「電源スイッチ」(Ⓢ)を「OFF (切)」にしておくこと

誤って下部保温プレートに触れた場合、やけどの原因になります。

⚠ 注意



デカンタは、強い直火にかけないこと

デカンタを強い直火にかけますと、割れる恐れがあり、ケガややけどの原因になります。



ひび割れや、傷の入ったデカンタは使わないこと

使用して割れた場合、ケガややけどの原因になります。

お願い

コーヒーは抽出後、1時間以上おかないようにしてください。

コーヒーは抽出後、時間の経過とともに酸化して味が悪くなります。

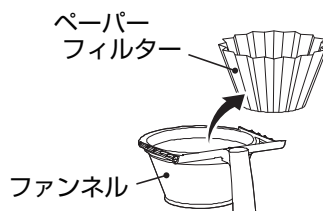
デカンタ内に、コーヒーが残っている状態で、新しいコーヒーの継ぎ足しはしないでください。

新しいコーヒーを継ぎ足しますと、新しく抽出したコーヒーと、古いコーヒーが混ざって味を落とします。

コーヒーを抽出する際は、デカンタ内に残っているコーヒーを捨ててから、新しいコーヒーを抽出してください。

5. コーヒーのカスを捨ててください

本体からファンネルを抜き取って、ペーパーフィルターと一緒にコーヒーカスを捨ててください。



終業時

1. 本体の「電源スイッチ」 を「OFF（切）」にしてください

「電源スイッチ」  は、消灯している状態が「OFF（切）」です。

2. 水道栓を閉めてください

3. 洗浄と清掃をおこなってください

「お手入れ」（14 ページ）を参照してください。

お手入れ

いつも清潔にご使用いただくためと、機械を長持ちさせるために、作業終了後は各部の洗浄と清掃をおこなってください

⚠ 警告



本体に直接水をかけないこと
漏電、ショート、感電の原因になります。

⚠ 注意



お手入れのときや点検のときは、必ず本体の電源スイッチを「OFF(切)」にし、電源プラグを抜く(電源プラグを使用の場合)か、本機専用電源を「OFF(切)」にすること
誤ってコーヒー抽出スイッチに触れて給湯が開始された場合、やけどの原因になります。
漏電、ショート、感電の原因にもなります。



お手入れの際は、ファンネル内に残ったコーヒーやシャワープレート内に残った熱湯が手にかからないように充分に注意すること
手などにかかると、やけどの原因になります。

ファンネルとデカンタの洗浄

1. 本体からデカンタを外してください

デカンタ内にコーヒーが残っている場合は、捨ててください。

お願い

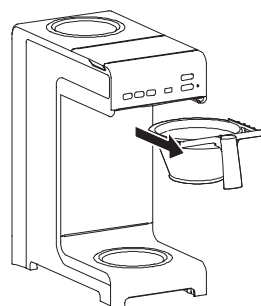
デカンタのふたは、無理に取り外さないでください。

デカンタのふたは、取り外せないようになり、無理に取り外すと破損の原因になります。



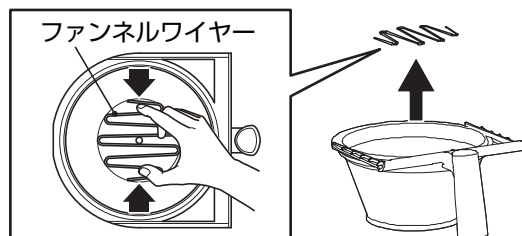
2. 本体からファンネルを抜き取ってください

ファンネル内にコーヒーのカスが残っている場合は、ペーパーフィルターと一緒にコーヒーのカスを捨ててください。



3. ファンネル内からファンネルワイヤーを取り外してください

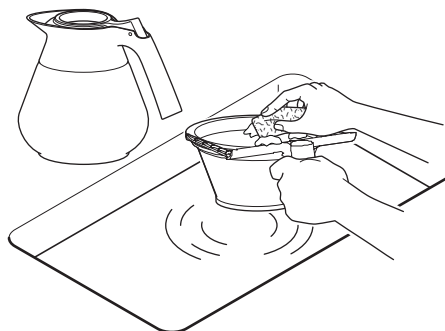
ワイヤーは、指で右図のようにつまむと取り外せます。



4. ファンネルとファンネルワイヤー、デカンタを食器用中性洗剤を入れた水またはぬるま湯で、スポンジやブラシなどを使って洗浄してください

お願い

かたいタワシなどは、使用しないでください。
かたいタワシなどでこすると傷がつく原因になります。
デカンタのガラス部分にキズが付きますと、割れの原因になります。



5. ファンネルとファンネルワイヤーを飲料用のきれいな水ですすいで洗剤成分を完全に洗い流してください

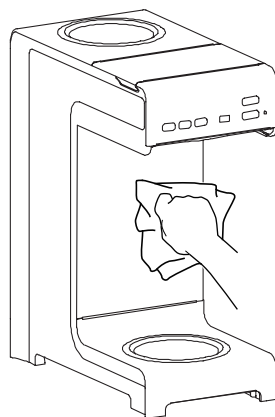
6. 乾いた布で水分を拭き取り、よく乾燥させてください

乾燥後は、ファンネルにファンネルワイヤーを取り付けてください。



本体外装の清掃



1. 本体外装の金属部分を中性洗剤をしみ込ませた柔らかい布で拭いたあと、きれいな水でしぼった布で拭いて、洗剤成分を完全に拭き取ってください



2. 操作パネルと操作パネル周辺は、きれいな水でかたくしぼった布で拭いてください



コーヒー抽出量の変更方法


「コーヒー抽出(大)スイッチ」 に設定されているコーヒー抽出量を変更することができます。本機は、「コーヒー抽出(大)スイッチ」 のみコーヒー抽出量を変更することができます。

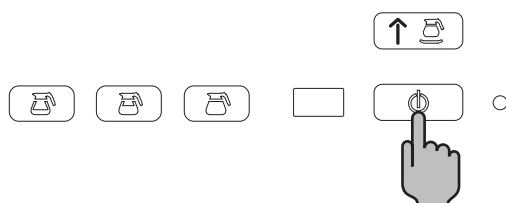
「コーヒー抽出(小)スイッチ」 は、「コーヒー抽出(大)スイッチ」 で設定したコーヒー抽出量の 1/4 になります。

「コーヒー抽出(中)スイッチ」 は、「コーヒー抽出(大)スイッチ」 で設定したコーヒー抽出量の 1/2 になります。

コーヒー抽出量の設定を変更する場合は、下記の手順でおこなってください。

1. 「電源スイッチ」 を「OFF (切)」の状態にしてください

「電源スイッチ」 は消灯している状態が「OFF (切)」です。



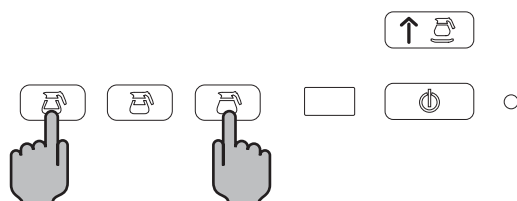
2. 「コーヒー抽出(小)スイッチ」 と「コーヒー抽出(大)スイッチ」 を同時に約 5 秒間押してください

ブザーが2回鳴り、ディスプレイに「P 1」が表示されます。


「P 1」が表示されましたら、押しているコーヒー抽出スイッチから指を離してください。

ディスプレイに表示されている「P 1」は、約3秒後に現在のコーヒー抽出量の設定値に切り替わります。


工場出荷時の設定値は「13」で、1.3Lの意味です。



3. コーヒー抽出量の設定値を変更してください

コーヒー抽出量を増やしたいときは、「コーヒー抽出(大)スイッチ」 を押してください。

押す毎に値が増加してコーヒー抽出量が多くなります。

コーヒー抽出量を減らしたいときは、「コーヒー抽出(小)スイッチ」 を押してください。

押す毎に値が減少してコーヒー抽出量が少なくなります。



コーヒー抽出量の値は「10～24」（1.0L～2.4L）の間で変更可能です。

お願い

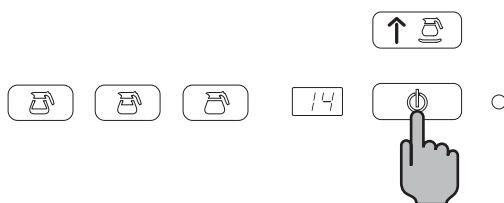
本機に付属のデカンタを使用する場合は、「17」（1.7L）以下に設定してください。

付属のデカンタの容量は1.7Lですので、「18」（1.8L）以上に設定されますと、コーヒーを抽出した際、デカンタからあふれ出ます。

4. 設定値を変更したら、「電源スイッチ」 を押して確定してください

変更が確定され、ディスプレイの表示が消えます。

変更をしない場合は、20 秒間放置してください。変更を保存せずに終了します。



コーヒー総抽出量の確認方法

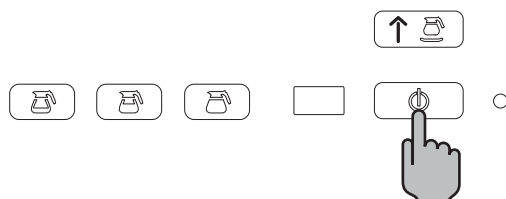
本機は、コーヒー総抽出量を確認することができます。

コーヒー総抽出量の値は、リセットすることはできません。

コーヒー総抽出量を確認したい場合は、下記の操作をおこなってください。

1. 「電源スイッチ」 を「OFF（切）」の状態にしてください

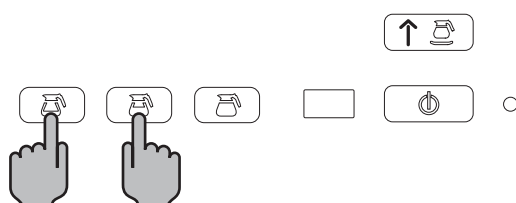
「電源スイッチ」  は消灯している状態が「OFF（切）」です。



2. 「コーヒー抽出（小）スイッチ」 と「コーヒー抽出（中）スイッチ」 を同時に約 5 秒間押してください

ブザーが2回鳴り、ディスプレイにコーヒー総抽出量が1桁ずつ表示されます。

単位はリットルです。



例えば、コーヒー総抽出量が 580L の場合
「5」「8」「0」の順番で表示されます。

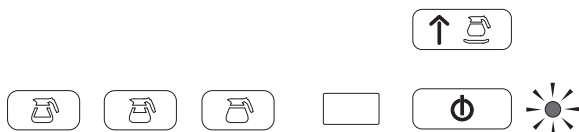


ディスプレイに表示できる最大量は 65535L
です。

コーヒー総抽出量の表示後、ディスプレイの表示は消え、通常モードに戻ります。

スケール除去ランプが点滅した場合

操作パネルのスケール除去ランプが赤く点滅したときは、以下の方法で本機内部に付着したスケールを除去してください。



スケール除去ランプが点滅していてもコーヒーの抽出は可能です。

⚠ 注意



コーヒー抽出時やスケール除去作業の際、必ずファンネルとデカンタをセットしてからコーヒー抽出スイッチを押すこと

ファンネルとデカンタをセットせずにコーヒー抽出スイッチを押した場合、熱湯が飛び散り体にかかりますと、やけどの原因になります。


熱湯が機械内部に入ると、漏電、ショート、感電の原因になります。

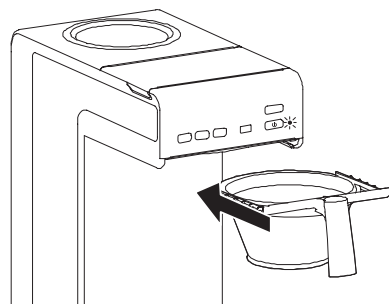


スケール除去作業で、「レネジット液」を本機内に投入した後は、必ずスケール除去作業を最後までおこなうこと

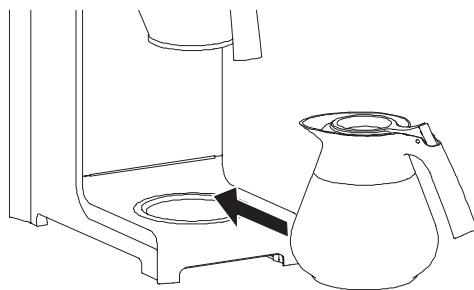
本機内に「レネジット液」の成分が残った状態で、コーヒーを抽出した場合、コーヒーに「レネジット液」の成分が混ざり、健康障害の原因になります。

1. 本体に、ファンネルを空の状態セットしてください

「電源スイッチ」は、「ON (入)」の状態にしておいてください。



2. 下部保温プレートの上に、空のデカンタを置いてください



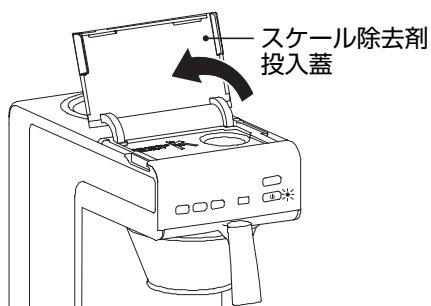
3. 「レネジット液」を作ってください

お手持ちの容器に約 40℃のお湯を 0.5L 用意してください。

用意したお湯に、付属のスケール除去剤「レネジット」(RENEGITE) を 100g (2袋分) 入れてよく溶かしてください。



4. スケール除去剤投入蓋を開けてください



5. スケール除去剤投入口のキャップを開けてください

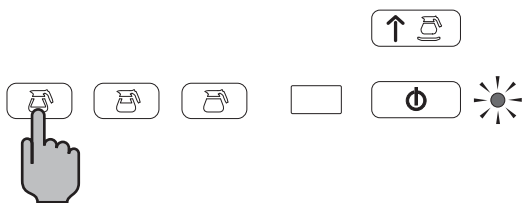


6. スケール除去剤投入口から、「レネジット液」を入れてください



7. 「コーヒー抽出 (小) スイッチ」 を押してください

レネジット液が抽出されます。

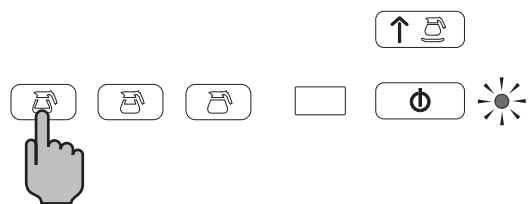


8. ブザーが3回鳴り、抽出動作が終了しましたら、2分間そのままの状態で放置してください

9. もう一度「コーヒー抽出 (小) スイッチ」

 を押してください

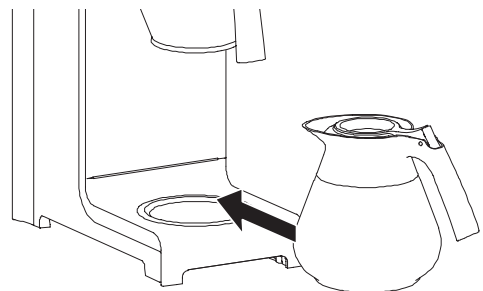
レネジット液が抽出されます。



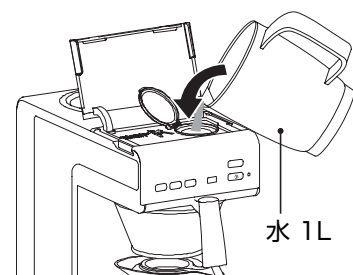
10. ブザーが3回鳴り、抽出動作が終了しましたら、デカンタ内のレネジット液を捨ててください



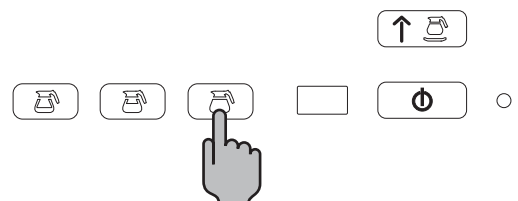
11. 下部保温プレートの上に、空にしたデカンタを置いてください



12. スケール除去剤投入口から、飲料用のきれいな水を 1L 入れてください



13. 「コーヒー抽出 (大) スイッチ」  を押して熱湯を抽出してください



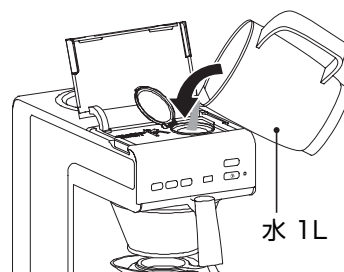
14. ブザーが3回鳴り、抽出動作が終了しましたら、デカンタ内の熱湯を捨ててください



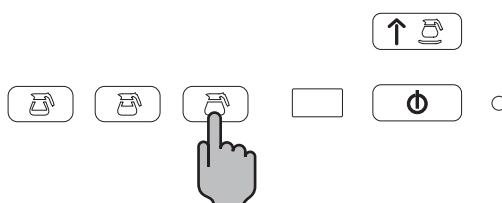
15. 下部保温プレートの上に、空のデカンタを置いてください



16. スケール除去剤投入口から、飲料用のきれいな水を 1L 入れてください



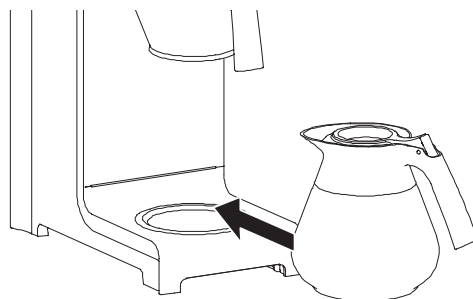
17. 「コーヒー抽出（大）スイッチ」  を押して熱湯を抽出してください



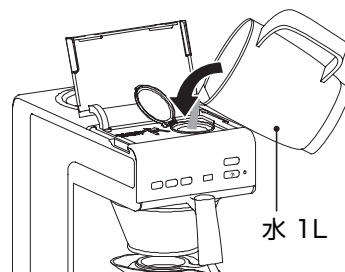
18. ブザーが3回鳴り、抽出動作が終了しましたら、デカンタ内の熱湯を捨ててください



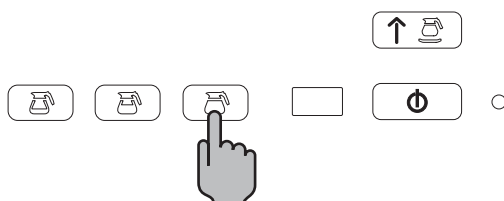
19. 下部保温プレートの上に、空のデカンタを置いてください



20. スケール除去剤投入口から、飲料用のきれいな水を 1L 入れてください



21. 「コーヒー抽出（大）スイッチ」  を押して熱湯を抽出してください



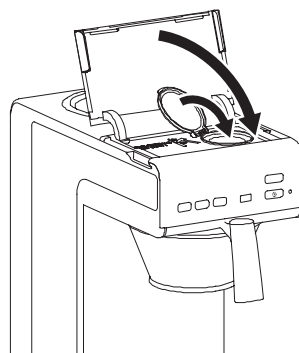
22. ブザーが3回鳴り、抽出動作が終了しましたら、デカンタ内の熱湯を捨ててください



23. スケール除去剤投入口のキャップを閉め、スケール除去剤投入蓋を閉めてください

以上で、スケール除去作業は完了です。

使用したデカンタとファンネルは、洗浄してください。



据え付けかた

据え付け前の準備

水道

⚠ 注意



給水に使用する水は、必ず飲料用の水を使用すること
飲料用の水以外の水は、健康障害の原因になります。

本機へ給水するために、水道栓は、ステンレスフレキシブルホースが取り付けられるように、コックの先に「G 1/2 オスネジ」付きのものをご用意ください

質の良いコーヒーを供給するためと、機械を長持ちさせるため、必ず浄水器（別売品）を付けてください

水道圧力は、流れている状態で 0.1 ～ 0.74MPa の範囲内にしてください

電源

⚠ 警告



本機の電源は、専用の漏電遮断機付きサーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に直接接続すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



アースを必ずとること

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

電気工事士によるD種接地工事が必要です。電気工事店に依頼してください。

下記の電源設備を設けてください

単相 200V 2.5 kVA 以上

電源に近いところ（できれば1m以内）に据え付けてください

電源コードの長さは約 1.5m です。

本機の電源コードを電源設備に接続する際、電源コードが長すぎる場合は、束ねたりせず少し余裕を持たせて適切な長さにカットして接続してください

据え付け

据え付け場所

水平で丈夫なカウンター、または据付台に、操作パネルが正面にくるようにして据え付けてください

カウンターが傾斜していたり不安定ですと、転倒、落下する恐れがあり危険です。

本機の周囲は、壁および物から 100mm 以上空けてください

熱がこもると電気部品に影響をおよぼし、故障の原因になります。

据付台の下には、浄水器（別売品）と配管設備のスペース（面積）を確保してください

風通しの良い所へ据え付けてください

湿気が多いところは、機械の寿命を短くしますので避けてください。

直射日光の当たる所や、機械の周囲温度が 32℃を超える高温の場所には据え付けしないでください

水などをこぼしてもよい所へ据え付けてください

濡れると不都合なところは、防水処理をしてください。

振動のない所へ据え付けてください

水道配管

お願い

必ず浄水器をつけてください。

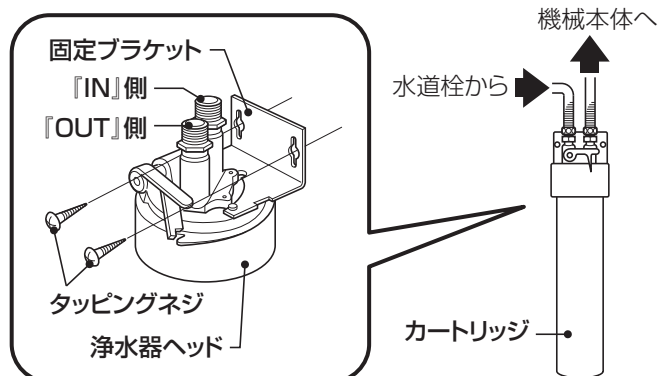
浄水器を取り付けないと、コーヒーの味に影響を与えます。

水道水内のゴミ等により、機械故障の原因にもなります。

1. 浄水器ヘッドの固定ブラケットを据付台下の壁面にタッピングネジか釘で取り付けてください

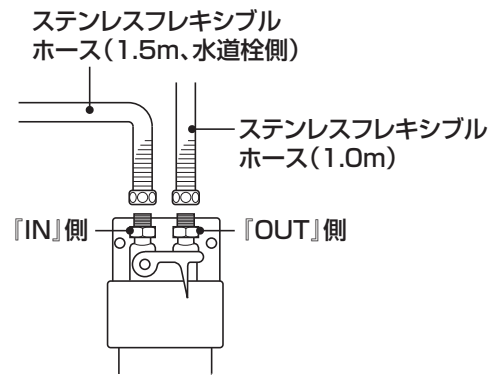
2. カートリッジを浄水器ヘッドに取り付けてください

浄水器カートリッジの取り付けかた（取り外しかた）は、カートリッジに同梱されている取扱説明書をご覧ください。



3. 水道栓と浄水器の『IN』側をステンレスフレキシブルホース（1.5m）で接続してください

4. 浄水器の『OUT』側にステンレスフレキシブルホース（1.0m）を接続してください



5. 浄水器内部を洗浄してください

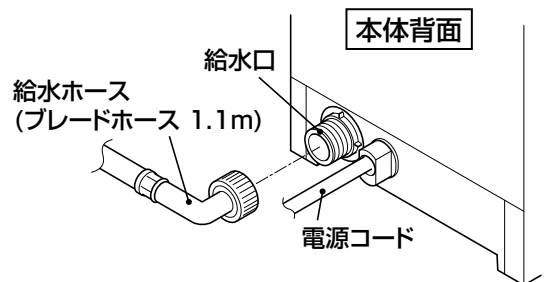
- 1) 浄水器の『OUT』側に接続したステンレスフレキシブルホース（1.0m）の端を排水孔、または排水溝へ差し込んでください。
- 2) 水道栓と浄水器の栓を開いて、約3分間水を出し、内部のゴミやホコリなどを流してください。
- 3) 内部の洗浄が終われば、水道栓を閉めてください。

6. 給水ホース（ブレードホース 1.1m）を機械背面の給水口に接続してください

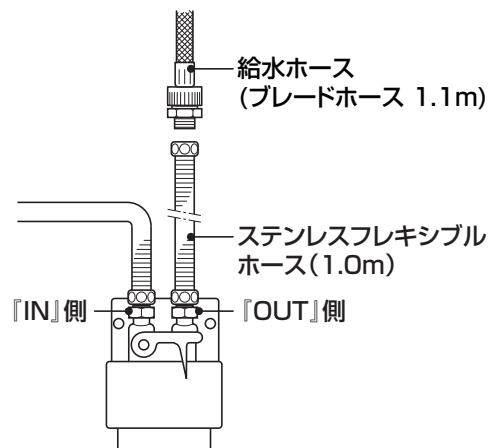
お願い

配管を接続する際は、ネジ部を必要以上に締め付けずに、水が漏れない程度にしてください。

強く締め付けますと、ネジ部を破損し、水漏れの原因になります。



7. 本機に接続した給水ホース（ブレードホース 1.1m）を浄水器の『OUT』側のステンレスフレキシブルホース（1.0m）に接続してください



8. 配管の接続が完了しましたら、水道栓を開け、配管部に水漏れがないか確認してください

お願い

浄水器は、条件により異なりますが、半年または1年毎にカートリッジを交換してください。

交換につきましては、お買上げ店にご相談ください。

電気配線

1. 本体の電源コードを本機専用電源に接続してください

お願い

延長コードを使用される場合は、 2mm^2 以上の線を使用してください。

2. アース線を（緑色の線）をアース端子に接続してください

アースは必ずとってください。

据付け後の動作確認

1. 空のファンネルを本機にセットしてください

2. 空のデカンタを下部保温プレートの上に置いてください


デカンタのふたは、閉めた状態にしてください。

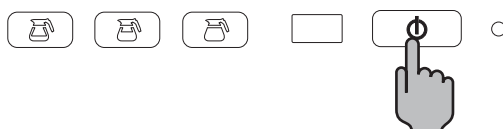



3. 水道栓と浄水器の栓を開いてください

4. 本機専用電源（漏電遮断器付サーキットブレーカー）を『ON（入）』にしてください

5. 「電源スイッチ」  を押して電源を「ON（入）」にしてください


ブザーが鳴り、「電源スイッチ」  がオレンジ色に点灯します。




6. 「コーヒー抽出（小）スイッチ」  を押してください

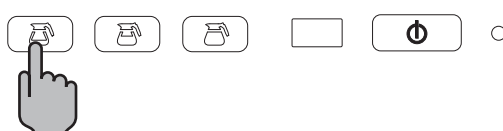
ブザーが鳴り、「コーヒー抽出（小）スイッチ」がオレンジ色に点灯します。

給水後、湯が沸き上がるとデカンタに熱湯が抽出されます。

熱湯が抽出されている間、「電源スイッチ」  は、点滅します。

シャワープレートから熱湯が出ていることを確認してください。

熱湯の抽出が終了すると、約1分後に「コーヒー抽出（小）スイッチ」  が消灯し、ブザーが3回鳴って抽出の完了をお知らせします。



7. 「電源スイッチ」  を押して電源を「OFF（切）」にしてください



8. 水道栓を閉めてください

9. デカンタに溜まったお湯は捨ててください

これで据付け完了です。

故障の診断と手当

故障かなと思われ修理を依頼する前に、次の項目を確認してください。

症状が改善されないときや「手当」の欄に「お買上げ店へ連絡してください。」と記載されている場合は、本機専用電源を『OFF（切）』にして、早急にお買上げ店へ連絡してください。ご連絡の場合は、本機の型式名、機番お買上げ日、故障状況（できるだけ詳しく）をお知らせください。

状 態	診 断	手 当
電源スイッチ、または上部保温スイッチを ON にしてもスイッチが点灯しない。	本機専用電源が『OFF（切）』になっていませんか？	本機専用電源が『OFF（切）』になっている場合は、電源プラグを差し込んでください。
	停電ではありませんか？	通電するのを待ってください。
	漏電遮断器が切れていませんか？	『OFF（切）』になっている場合は、お買上げ店へ連絡してください。
ディスプレイに「E r 6」が表示された。	水道栓と浄水器の栓は、開いていますか？	水道栓や浄水器の栓が閉じている場合は、開けてください。
	水道圧力が低すぎではありませんか？	水道圧力が低すぎる場合は、お買上げ店へ連絡してください。
ディスプレイに「E r 1 1」が表示された。	—	お買上げ店へ連絡してください。
ディスプレイに「E r 1 2」が表示された。	—	お買上げ店へ連絡してください。
操作パネルのスケール除去ランプが点滅した。	機械内部にスケールが付着している。	「スケール除去ランプが点滅した場合」（19 ページ）を参照して、スケールを除去してください。
本機の下から水が漏れている。	—	水道栓を閉じ、本機専用電源が『OFF（切）』にしてからお買上げ店へ連絡してください。
漏電遮断器が切れる	漏電遮断器のレバーの位置が『OFF（切）』になっていませんか？	漏電遮断器が『OFF（切）』に作動した場合には、お買上げ店へ連絡してください。 レバーが『OFF（切）』になっていると漏電している可能性があります。無理にレバーを『ON（入）』にすると、感電や火災の原因になります。
電源コードが異常に熱くなる。	—	お買上げ店へ連絡してください。

状 態	診 断	手 当
電源コードを折り曲げると通電したり、しなかったりする。	—	お買上げ店へ連絡してください。

× 毛

仕様

品 名	コーヒープルーパー【ボナマット】	
型 式	MATIC-2NA(S)	
外 形 寸 法	幅 195・奥行 358・高さ 445mm (上部デカンタセット時高さ 623mm) (突起物を含む 奥行 456mm)	
電 源	単相 200V 50 / 60Hz	
電 流	11.5 A	
消 費 電 力	2.3 kW	
抽 出 能 力	13 L / h	
抽出タンクヒーター	単相 200V 2 kW	
プレート保温ヒーター	単相 200V 100 W x 2 個	
材 質	本 体	ステンレス、ABS
	ファンネル	ステンレス、ポリプロピレン
	デ カ ン タ	ガラス、ポリプロピレン
質 量	6 kg	
給 水 設 備	給水栓：G1/2 オスネジ	
水 道 圧 力	0.1 ～ 0.74 MPa (流水時)	
電 源 コ ー ド	2mm ² 3 心 長さ 1.5 m 外径φ 8.5mm	

※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

付 属 品	デカンタ (1.7L)2 個 ファンネル1 個 粉計量スプーン1 個 ペーパーフィルター (φ 250)100 枚 スケール除去剤「レネジット」(RENEGITE)50g×2 袋 取扱説明書 (本書、保証書付)1 冊
配管付属品	給水ホース (3/4、1.1 m、異径ニップル 3/4×1/2 付) …1 本 ステンレスフレキシブルホース (1/2、1.0 m)1 本
別 売 品	浄水器ヘッド 浄水器カートリッジ ステンレスフレキシブルホース (1.5 m)

エフ・エム・アイ商品保証書

《本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。保証期間経過後の修理等につきましては、お買上げ店にご相談ください。》

保証期間

保証の効力は、商品お買上げと同時に発生いたします。
その期間は、1年間有効とし、機器本体を対象とします。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、お買上げ店が「**無料修理**」いたします。
 - 無料修理を受ける場合は、お買上げ店にご依頼のうえ、出張修理に際しまして本書をご提示ください。
 - 保証期間内でも次の場合には「**有料修理**」となります。
 - ご使用上の誤り、および製品の改造や不当な修理により発生した故障および損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧その他の外部要因による故障および損傷。
 - 車輛、船舶に搭載して使用された場合の故障および損傷。
 - お買上げ後の転倒、落下や取付場所の移動などによる故障および損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書にお客様名、お買上げ年月日、お買上げ店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - 指定外の使用電源（電圧、周波数）の使用による故障および損傷。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。
 - 消耗部品（O リング、パッキン、チューブ）は、保証の対象範囲から除外させていただきます。
- ※ この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げ店にお問い合わせください。

修理対応期間（補修用性能部品の保有期間）

当社では、本製品の修理対応期間（補修用性能部品の保有期間）を販売打ち切り後8年とさせていただきます。修理対応期間（補修用性能部品の保有期間）を終了している場合は、修理のご依頼をお受けできないことがあります。

品 名		コーヒープルワー【ボナマット】		
型 式		MATIC-2NA(S)	製造番号	
お 客 様	ご 芳 名	様		
	ご 住 所	〒	TEL. ()	
お 買 上 げ 店	店名・住所			
お買上げ日	年	月	日	無料修理保証期間 お買上げ日より1年間

株式会社エフ・エム・アイ

東 京：〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目11番9号 Tel.03(5561)6521

大 阪：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号 Tel.06(6969)9393

営 業 所 札 幌：〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号 Tel.011(813)8651

仙 台：〒983-0034 仙台市宮城野区扇町2丁目1番9号 Tel.022(238)5711

名古屋：〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地 Tel.052(361)7891

広 島：〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号 Tel.082(876)1855

福 岡：〒812-0839 福岡市博多区那珂1丁目30番21号 Tel.092(481)2931

出張所 北 陸：〒921-8027 金沢市神田1丁目23番11号 Tel.076(243)7810

沖 縄：〒901-2214 宜野湾市我如古1丁目54番21号 Tel.098(870)2766

サービス盛 岡：〒020-0124 盛岡市厨川4丁目14番5号 Tel.019(648)5390

ステーション 四 国：〒768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1 Tel.0875(57)5161

鹿児島：〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号 Tel.099(263)8281

東京修理工場：〒130-0011 東京都墨田区石原4丁目35番7号 Tel.03(5819)1280

ホームページ <http://www.fmi.co.jp/>